

世界セレクトティブ株式オープン

<為替ヘッジなし>

世界セレクトティブ株式オープン

世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型)

<為替ヘッジあり>

世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年1回決算型)

世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年2回決算型)

決算および運用状況、今後の運用方針について

2021年4月27日

平素は「世界セレクトティブ株式オープン」シリーズをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、**2021年4月26日に決算**を迎え、当期の収益分配金（1万口当たり、税引前。以下同じ。）をそれぞれ以下のとおりと致しましたことをご報告申し上げます。

今後ともファンド運用にあたり、パフォーマンスの向上を目指してまいりますので、引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※上記 4 ファンドの総称として「世界セレクトティブ株式オープン」を用いています。

※各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

世界セレクトティブ株式オープン：為替ヘッジなし/年1回決算型

世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型)：為替ヘッジなし/年2回決算型

世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年1回決算型)：為替ヘッジあり/年1回決算型

世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年2回決算型)：為替ヘッジあり/年2回決算型

2021年4月26日現在

	為替ヘッジなし /年1回決算型	為替ヘッジなし /年2回決算型	為替ヘッジあり /年1回決算型	為替ヘッジあり /年2回決算型
当期決算 分配金 (1万口当たり、税引前)	100円	900円	100円	1,000円
基準価額	12,619円	10,114円	11,115円	10,200円
純資産総額	160億円	246億円	2億円	4億円

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和アセットマネジメント）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

■ 分配方針

「世界セレクトティブ株式オープン」 シリーズの収益分配方針は以下のとおりとなっています。

「為替ヘッジなし／年1回決算型」 「為替ヘッジあり／年1回決算型」

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
- ② 原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

「為替ヘッジなし／年2回決算型」 「為替ヘッジあり／年2回決算型」

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
- ② 原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。各計算期末における収益分配前の基準価額（1万口当たり）が10,000円超の場合、10,000円を超える額を目処に分配金額を決定します。なお、計算期末に向けて基準価額が大きく上昇した場合など基準価額の動向等によっては、実際の分配額がこれと異なる場合があります。

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和アセットマネジメント）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

過去1年の市場動向（2020年4月～2021年4月21日）

海外先進国株式市場は、2020年4月以降は各国政府による大規模な経済対策が打ち出され、FRB（米国連邦準備制度理事会）やECB（欧州中央銀行）などの中央銀行による積極的な金融緩和策が投資家心理を好転させ、8月末にはコロナ前の水準まで急回復しました。

9月はハイテク株主導で上昇してきた株価への高値警戒感から調整し、10月も欧州を中心とした新型コロナウイルス感染の再拡大が懸念されたことから続落しました。

11月に入ると、米国の大統領選挙の通過や、新型コロナウイルス向けワクチンの臨床試験で高い有効性が確認されたことが好感され、大幅に上昇しました。12月も米国の追加経済対策の成立や、英国とEU（欧州連合）の通商協定の合意などを背景に上昇基調を維持しました。

2021年1月は米国で民主党が大統領選と上下両院を制する「トリプルブルー」となり、バイデン新政権の経済政策が進めやすくなるとの期待が高まり上昇しました。2月、3月は米国長期金利の急上昇への懸念や、欧州における新型コロナウイルスの感染再拡大やワクチン接種の遅れなどにより調整する場面がみられたものの、米国で追加経済対策が成立したことが好感され、上昇しました。

4月以降は米国長期金利の上昇が一服したことを受けて、海外先進国株式市場は堅調に推移しました。

当ファンドの基本方針

- ① 徹底したリサーチを通じて選別した持続的な優位性を持つ質の高い企業の株式等に中長期に投資することで、優れたリターンの獲得をめざします。
- ② ファンドの市場連動性を一定程度以下に調節することで値下がりリスクの抑制に努めます。
- ③ ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対する集中投資を行います。投資銘柄数は、原則として20銘柄以上、40銘柄以下とします。
- ④ 投資対象とする株式等は、取得時に、原則として時価総額250億米ドル以上の銘柄※とします。ただし、原則として原油や天然資源などの商品市況に影響される銘柄は除きます。

※一般的に大型株と言われます。

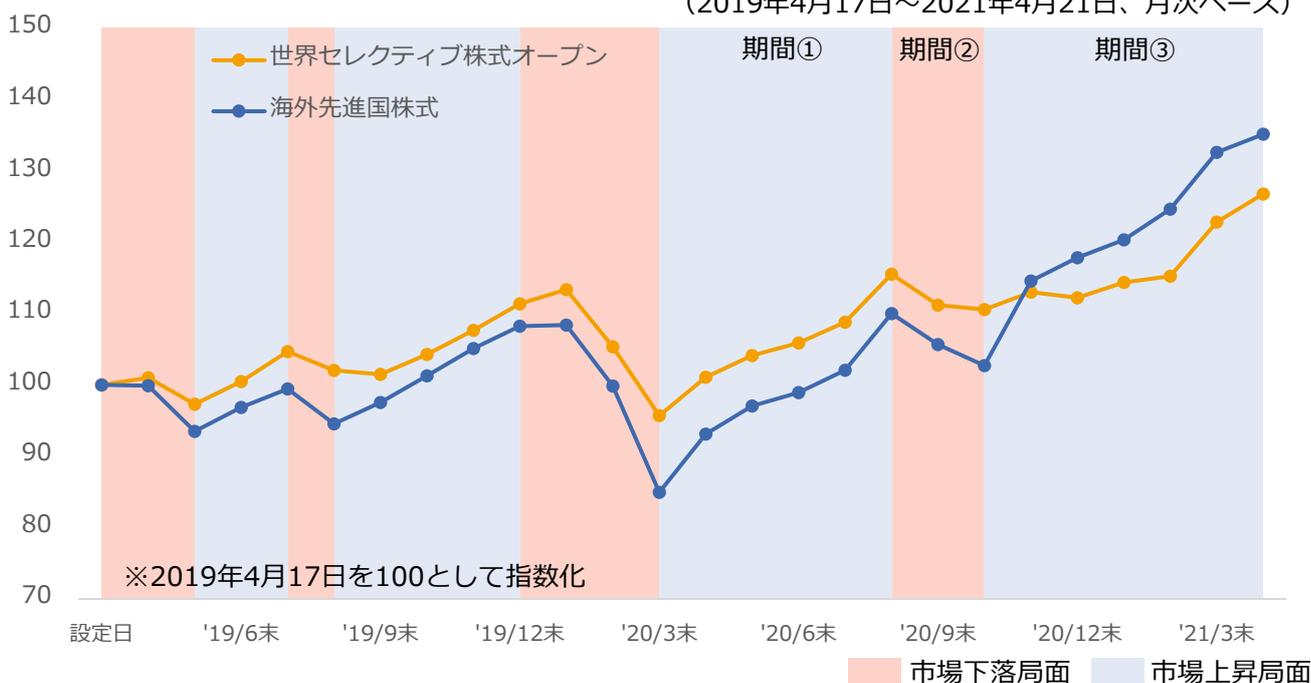
ファンドの主な特徴

- ・ 海外大型株へ投資
- ・ **株式市場との連動性を常に8割程度以下に維持**し、値下がりリスクの抑制を目指す
- ・ 確信度の高い銘柄に集中投資することで、株式市場の上昇局面にも追随を目指す

設定来の運用状況

世界セレクトティブ株式オープン*の基準価額と海外先進国株式市場の推移

(2019年4月17日～2021年4月21日、月次ベース)



* 世界セレクトティブ株式オープン (2019年4月17日設定)

※海外先進国株式はMSCIコクサイ指数(税引後配当込み、円換算)を使用しています。

※各月末値を使用しています。また、2021年4月については4月21日の値を使用しています。

出所：ブルームバーグ

※投資対象ファンドの委託会社であるノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社の提供するコメントをもとに大和アセットマネジメントが作成したものです。

設定来の運用状況（続き）

世界セレクトティブ株式オープン*と海外先進国株式市場のパフォーマンス

	設定日 ～19年5月末	19年5月末 ～7月末	19年7月末 ～8月末	19年8月末 ～12月末	19年12月末 ～20年3月末	期間① 20年3月末 ～8月末	期間② 20年8月末 ～10月末	期間③ 20年10月末 ～21年4月	設定来
世界セレクトティブ 株式オープン	-2.7%	7.6%	-2.5%	9.2%	-14.1%	20.7%	-4.3%	14.7%	26.8%
海外先進国株式 (MSCIコクサイ)	-6.5%	6.4%	-4.9%	14.5%	-21.5%	29.5%	-6.6%	31.6%	35.2%
超過収益	3.8%	1.2%	2.4%	-5.3%	7.5%	-8.8%	2.4%	-16.9%	-8.4%

*世界セレクトティブ株式オープン（2019年4月17日設定）

※海外先進国株式はMSCIコクサイ指数（税引後配当込み、円換算）を使用しています。

※各月末値を使用しています。また、2021年4月については4月21日の値を使用しています。

出所：ブルームバーグ

過去1年の運用状況

期間① 2020年3月末～8月末：市場上昇局面

- 現金の保有比率を高め維持していたことから、市場の上昇に追従できず、超過収益がマイナス

2020年4月以降の上昇局面では、当ファンドでは経済の先行きが不透明であると判断し、現金の保有比率を高め維持（月末ベースで、3月末～7月末：10%台後半、8月末：10%台前半）していたことから、市場の上昇に追従できませんでした。個別銘柄では、ハイテク株が主導で上昇した局面であったことから、高感応度銘柄のフェイスブック、アリババ、テンセントが超過収益にプラスに寄与したものの、クラウン・キャッスル・インターナショナル、エバーソース・エナジー、エクセル・エナジー、WECエナジーがマイナスに寄与するなど、**低感応度銘柄が全般的に低調**となりました。

期間② 2020年8月末～10月末：市場下落局面

- 現金の保有や公益事業セクターの銘柄が、下落幅の抑制に貢献

2020年9月～10月の下落局面では、保有比率を高め維持（月末ベースで、10%台前半）していた現金やディフェンシブ（景気に左右されにくい）特性のある公益事業セクターの銘柄が下落幅の抑制に貢献しました。個別銘柄では高感応度銘柄のうち、10月の決算発表で業績見通しを引き下げたSAPが大幅に下落したものの、**中国景気が他国に先駆けて回復するとの期待**から、同国の銘柄である**テンセントやアリババが上昇し超過収益にプラスに寄与**しました。さらに低感応度銘柄のスターバックスやマクドナルドなども底堅く推移し、プラスに寄与しました。

期間③ 2020年10月末～2021年4月21日：市場上昇局面

以下の表は2020年10月末～2021年4月21日のパフォーマンスを月毎に集計したものです。超過収益を見ると、2020年10月末～2021年2月末と2021年2月末～2021年4月21日では状況が変わっているため、2つの期間に分けてご説明します。

世界セレクトティブ株式オープン*と海外先進国株式市場のパフォーマンス

	2020年11月	2020年12月	2021年1月	2021年2月	2021年3月	2021年4月
世界セレクトティブ株式オープン	2.2%	-0.7%	1.9%	0.8%	6.6%	3.2%
海外先進国株式(MSCIコクサイ)	11.6%	2.9%	2.1%	3.6%	6.4%	1.9%
超過収益	-9.3%	-3.6%	-0.2%	-2.8%	0.2%	1.3%

期間③-1
期間③-2

*世界セレクトティブ株式オープン（2019年4月17日設定）

※海外先進国株式はMSCIコクサイ指数（税引後配当込み、円換算）を使用しています。

※各月末値を使用しています。また、2021年4月については4月21日の値を使用しています。

出所：ブルームバーグ

・期間③-1 2020年10月末～2021年2月末

➤ エネルギー、金融セクターが主導する株価の急反発に追従できず アリババが個別要因で下落

2020年11月以降の上昇局面では、エネルギーセクターの非保有や金融セクターの保有を低位としていたこと、現金の保有などが、超過収益のマイナスに寄与しました。個別銘柄では、傘下金融子会社の上場延期や中国当局による独占禁止行為に対する監督強化方針などが嫌気されたアリババ、ワクチン開発の進展などを受けた景気回復期待の高まりや金利上昇、投資家のリスク許容度の高まりを受けたディフェンシブ株に対する需要の後退から、エクセル・エナジー、WECエナジーなどの公益事業銘柄がマイナスに寄与しました。

なお、**エネルギーセクター**に関しては、原油や天然資源などの商品市況に影響される銘柄は価格変動が非常に大きく、**下落リスクの抑制という当ファンドの基本方針と合致しないため原則として保有しません**。金融セクターに関しては、低金利環境の長期化やIT（情報技術）企業など異業種の新規参入により伝統的な金融機関の収益が圧迫されるとの見方から、金融市場のテクノロジー・プラットフォーム企業であるインターコンチネンタル・エクステンジのみ保有しています。

アリババに関しては、Eコマース・プラットフォームとしての地位は引き続き盤石で、長期的に中国における中間所得者層の拡大から恩恵を受けると考えています。

・期間③－2 2021年2月末～2021年4月21日

当該期間は**市場との連動性を8割程度以下に維持しつつも、市場が上昇する中で個別銘柄の選択が奏功し、プラスの超過収益を獲得**することができました。

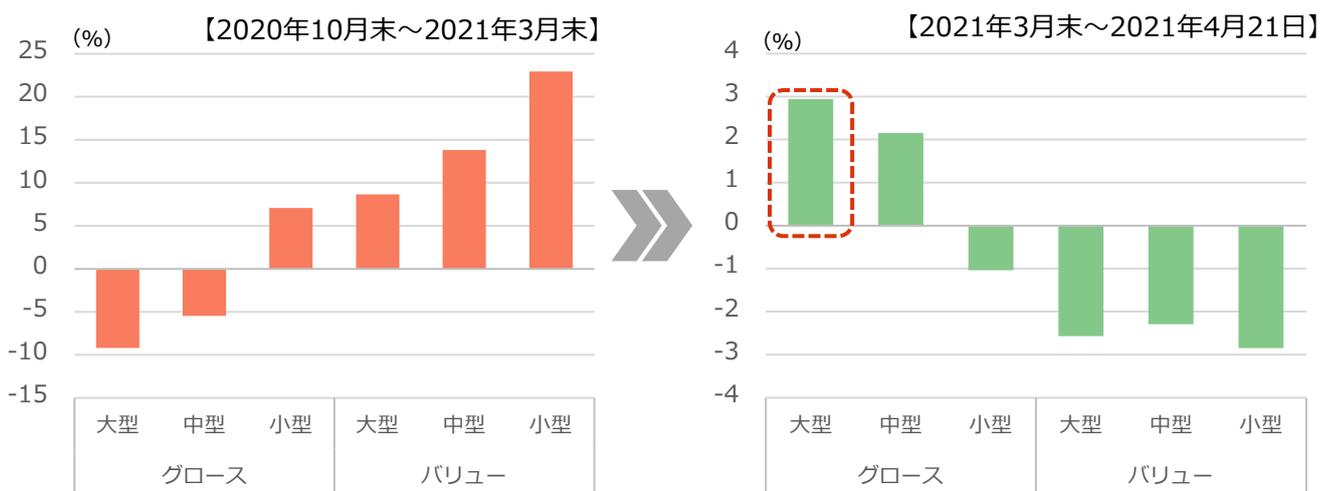
➤ 株価が堅調となった公益事業や生活必需品、不動産銘柄などの低感応度銘柄群が貢献

海外先進国株式（MSCIコクサイ）に対する超過収益が大きくマイナスとなっていた**低感応度銘柄群が2021年3月以降、プラスの超過収益を獲得するなど堅調に推移**したことが要因の一つです。具体的には、米国長期金利の上昇やインフレ懸念などを背景にパフォーマンスが低迷していた、エクセル・エナジー、WECエナジーなどの公益事業銘柄、ネスレなどの生活必需品銘柄、クラウン・キャッスル・インターナショナル（不動産銘柄）などの株価が上昇しました。パウエルFRB議長が金融緩和を維持する考えをあらためて示したことや業績対比での当該銘柄の割安感が高まったことなどから、買い戻されたと考えています。

➤ 2021年4月以降は大型グロース（成長）株が堅調推移となったこともプラス要因

市場環境の変化も要因の一つです。2020年11月から2021年3月末にかけて、バリュー（割安）株、小型株が市場の上昇を牽引しました。4月以降は**米国長期金利の上昇一服を受けて、ポートフォリオで保有が多い大型グロース株が堅調**となりました。

MSCIコクサイ指数に対する各指数の超過収益



※ファンドの評価基準に合わせるため、前営業日の数値を用いて算出しています。

出所：ブルームバーグ

市場見通し・今後の運用方針

- 今後の株式市場動向に対しては、異なる2つのシナリオを想定
- 短期的思考に陥ることなく、持続的な利益成長が見込まれる高クオリティ銘柄に厳選投資

株式市場の先行きについては2つの異なるシナリオを想定しています。

メインシナリオは、堅調な株式市場の継続です。新型コロナウイルス向けワクチンのスムーズな普及、経済活動の再開、積極的な財政・金融緩和政策の継続を想定し、金利は上昇するものの、景気敏感株などが先導し株式市場が上昇すると考えています。

リスクシナリオは、株式市場の大幅な下落です。このシナリオが起こるきっかけとしては、既存のワクチンが効かない変異ウイルスの拡大、インフレリスクの高まりによるFRBの金融緩和スタンスの変化などを想定しています。

リスクシナリオの可能性も払拭しきれないことから、これら2つのシナリオを考慮したポートフォリオ運営を行います。ファンドは常に**市場との連動性を8割程度以下に維持**し下値抑制を図るほか、変異ウイルスの拡大や金利上昇の影響を受けやすい銘柄の組み入れも制限していきます。一方で、市場との連動性については8割程度まで引き上げる余地が若干あるため、投資機会を見極めながら引き上げる方針です。

株式等の運用を担当しているマゼラン・アセット・マネジメント・リミテッドは、「持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持つ国際優良企業へ、ボラティリティを抑制しつつ投資を行うことは、株式の持つ長期的かつ本源的なリターンを獲得する上で最も有効である」という運用哲学のもと、**株式市場が「上昇するときは同じように追随」し、「下落するときは出来る限り追随を回避」するパフォーマンスの実現を目指しています。**

社会に変革をもたらすような中長期の投資テーマを発掘すると同時に、市場の大幅な下落につながる可能性のあるイベント・リスクを把握する「トップダウン分析」と、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる高クオリティ企業を厳選する「ボトムアップ分析」を効果的に融合し、ポートフォリオを構築します。

<エコノミック・モート（経済の堀）>

エコノミック・モートとは、参入障壁の高さを意味する言葉です。

これらを持つ企業が今後も国際的な競争力を維持できると考えています。

- ・規模の優位性
- ・無形資産（ブランド、特許、知的財産）
- ・乗換コスト（顧客の囲い込み）
- ・ネットワーク能力（アクセス、価格競争力、寡占）
- ・心理的な優位性（安心、親しみ感）



マゼラン・アセット・マネジメント
運用責任者
ハーミッシュ・ダグラス

■ 基準価額・純資産の推移（2021年4月26日現在）

■ 世界セレクトティブ株式オープン

基準価額	12,619 円
純資産総額	160億円



■ 世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型）

基準価額	10,114 円
純資産総額	246億円



■ 世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり／年1回決算型）

基準価額	11,115 円
純資産総額	208百万円



■ 世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり／年2回決算型）

基準価額	10,200 円
純資産総額	439百万円

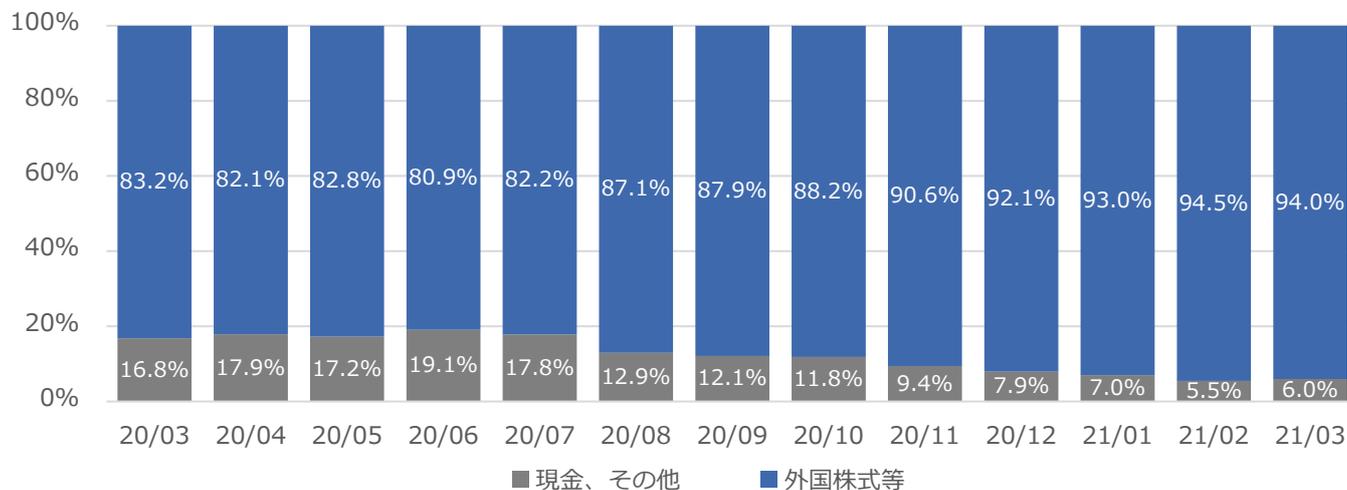


- ※世界セレクトティブ株式オープンと世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型）の参考指数はMSCIコクサイ指数（税引後配当込み、円換算）です。
- ※MSCIコクサイ指数（税引後配当込み、円換算）は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。
- ※世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり／年1回決算型）と世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり／年2回決算型）の参考指数はMSCIコクサイ（税引後配当込み、米ドルベース）です。
- ※MSCIコクサイ（税引後配当込み、米ドルベース）は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。
- ※グラフ上の参考指数はグラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。
- ※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
- ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
- ※MSCIコクサイ指数（税引後配当込み、円換算）は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIコクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに、大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIコクサイ指数は、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

組入上位10銘柄 (2021年3月末時点)

組入上位10銘柄				合計51.2%
銘柄名	国・地域名	業種名	銘柄概要	比率
マイクロソフト	アメリカ	情報技術	世界最大のソフトウェア企業。ウィンドウズやオフィスは世界中で圧倒的シェアを持ち、SNSやクラウドビジネスも急成長中。	7.1%
アルファベット	アメリカ	コミュニケーション・サービス	世界の検索エンジンやモバイル端末向け基本ソフト(OS)で圧倒的シェア。検索、地図、YouTubeなどの主力サービスを月間10億人超が利用。	5.9%
フェイスブック	アメリカ	コミュニケーション・サービス	世界最大のSNSプラットフォーム企業。グループ全体のサービスの月間利用者は約30億人に上り、広告収入を拡大中。	5.6%
スターバックス	アメリカ	一般消費財・サービス	強力なブランド力を持つ世界最大のコーヒー・チェーン企業。成長に重点を置き、食料品部門の拡大や中国市場での成長に注力。	5.6%
アリババ・グループ・ホールディング	中国	一般消費財・サービス	世界最大級の流通総額を持つ中国ネット通販最大手。「Alibaba.com」で企業間電子商取引事業を展開するほか、オンラインショッピングサイト「タオバオ」などを運営。	5.1%
テンセント・ホールディングス	中国	コミュニケーション・サービス	世界最大級のオンラインゲーム事業、中国で最大規模のSNSアプリ「ウィーチャット」を運営するネットサービス大手。モバイル決済やクラウド事業にも注力。	5.0%
ビザ	アメリカ	情報技術	ビザ・カードは発行枚数世界No.1。決済ネットワークを通じ、世界中のカード保有者と加盟店・銀行をつなぎ、利便性・安心を提供。	4.4%
ネットフリックス	アメリカ	コミュニケーション・サービス	世界最大規模のオンライン動画配信プラットフォーム企業。視聴者から集めたビッグデータを駆使し、世界規模で独自コンテンツを制作・配信することに強みを持つ。	4.3%
レキットベンキザー・グループ	イギリス	生活必需品	グローバルに事業を展開する家庭用品・医薬品メーカー。ニキビ治療薬のクレアラシル、薬用せっけんのミューズなど、世界的なブランドを複数持つ。	4.2%
ペプシコ	アメリカ	生活必需品	世界第2位の食品・飲料企業。炭酸飲料「ペプシコーラ」やスナック菓子「フリトレー」、朝食シリアルなどを高いブランド認知度という強みを生かし、世界各地で販売。	4.1%

資産別構成の推移 (2020年3月末～2021年3月末)



※ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社の提供するデータを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。※上記は、当ファンドの実質的な投資対象ファンドであるアンカーMFGグローバル株式マザーファンドのデータです。※比率はマザーファンドの純資産総額に対するものです。※比率の合計が四捨五入の関係で一致しない場合があります。※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）の産業分類によるものです。※個別企業の推奨を目的とするものではありません。

Ⅰ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

日本を除く世界の金融商品取引所上場株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 日本を除く世界の金融商品取引所上場株式等に投資します。
(注)「株式等」…DR(預託証券)およびリート(不動産投資信託証券)を含みます。
 2. 株式等の運用は、マゼラン・アセット・マネジメント・リミテッドが担当します。
 3. 世界セレクトティブ株式オープン(為替ヘッジあり/年2回決算型)と世界セレクトティブ株式オープン(為替ヘッジあり/年1回決算型)は為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。
 4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、世界の株式等に投資します。
- ※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

Ⅰ 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク(株価の変動、リートの価格変動)」、「為替変動リスク」、「カンントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があります。

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※「世界セレクトティブ株式オープン(為替ヘッジあり/年2回決算型)」と「世界セレクトティブ株式オープン(為替ヘッジあり/年1回決算型)」は、為替ヘッジを行いませんが、影響をすべて排除できるわけではありません。また、一部の通貨について、為替ヘッジを行わない場合があるため、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

Ⅰ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 <上限> 3.3% (税抜 3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.1275% (税抜 1.025%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.825% (税抜 0.75%)	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.9525% (税込) 程度	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 投資信託にはクーリング・オフ制度は適用されません。

世界セレクトティブ株式オープン 取扱い販売会社

販売会社名 (業態別、50音順) (金融商品取引業者名)	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
湘南信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第192号	○		
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○		

世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型) 取扱い販売会社

販売会社名 (業態別、50音順) (金融商品取引業者名)	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
湘南信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第192号	○		
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○		
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○		○

世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年1回決算型) 取扱い販売会社

販売会社名 (業態別、50音順) (金融商品取引業者名)	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○		

世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年2回決算型) 取扱い販売会社

販売会社名 (業態別、50音順) (金融商品取引業者名)	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○		
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○		○

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。